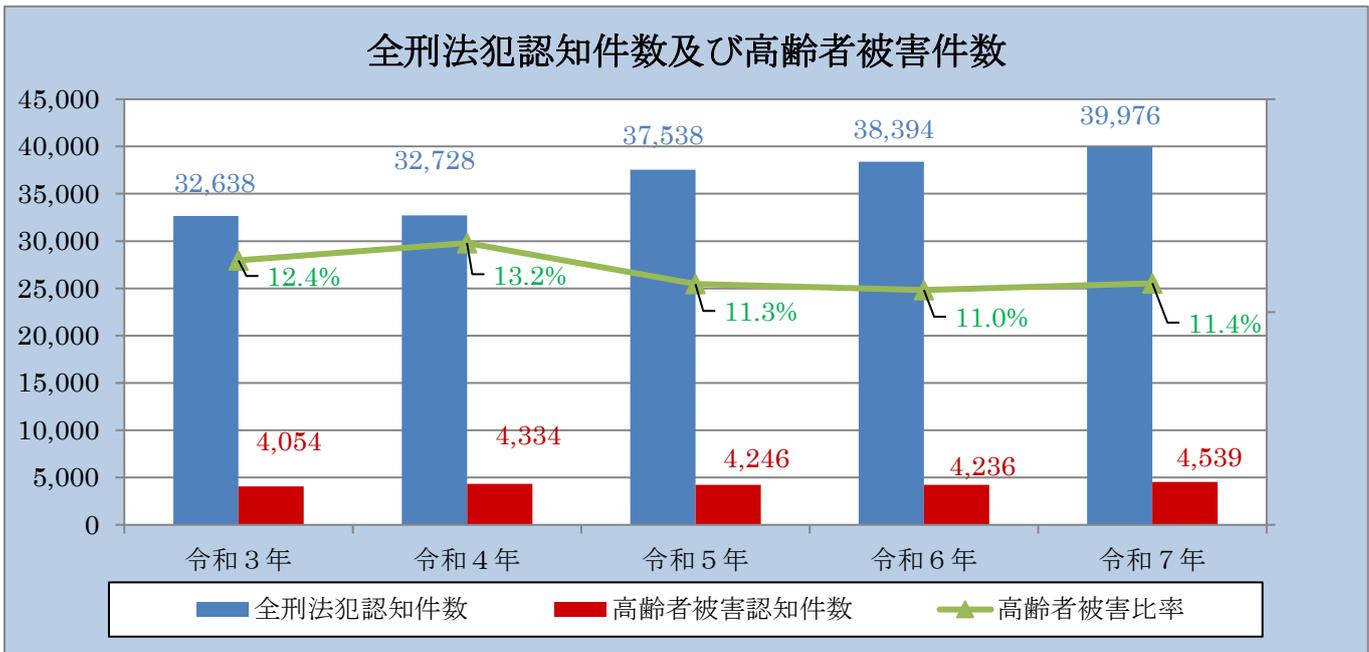
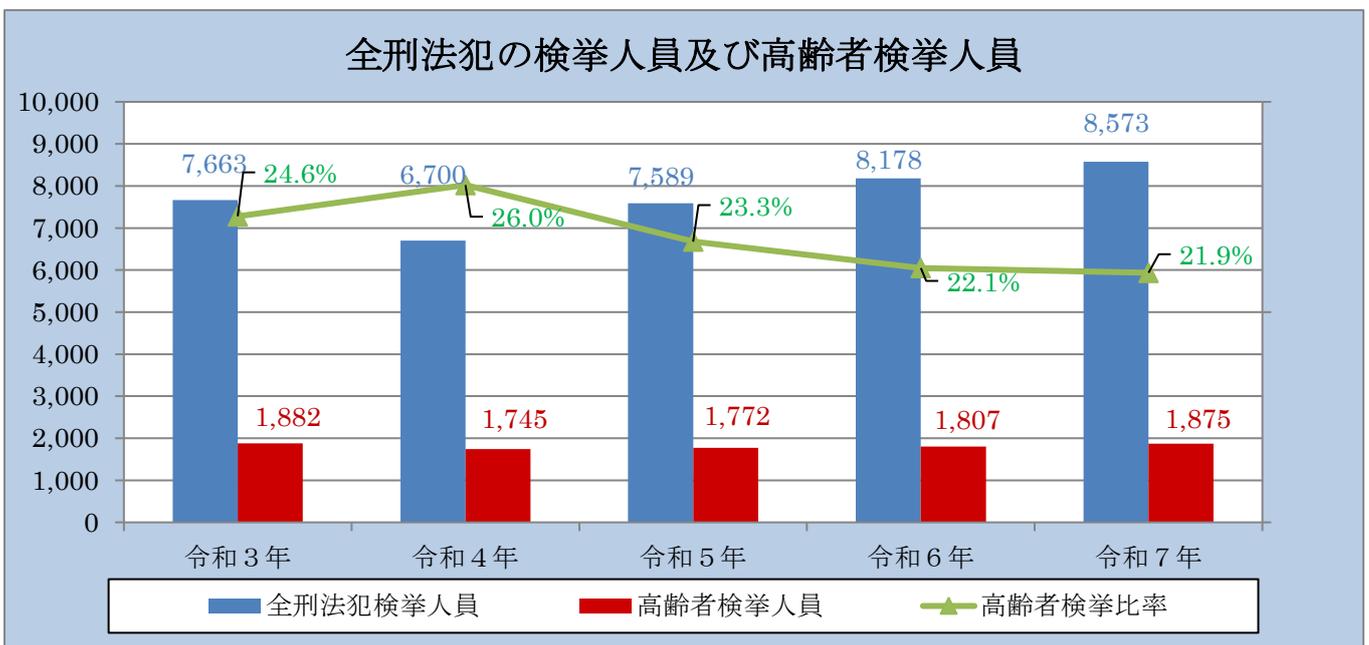


## 高齢者の犯罪被害等の推移



- 全刑法犯認知件数は令和3年以降4年連続で増加しており、令和7年中の高齢者被害認知件数は前年と比べ、303件増加している。
- 令和7年中における高齢者の被害件数及び全体に占める割合  
被害件数 4,539件（前年比+303件）  
高齢者被害比率 約11.4パーセント（前年比約0.4ポイント増加）



- 全刑法犯検挙人員は、全年齢、高齢者ともに令和4年以降増加しているが、検挙された高齢者数は微増であることから、全刑法犯検挙人員に占める高齢者の比率は減少傾向である。
- 令和7年中に検挙された高齢者数及び全体に占める割合  
検挙人員 1,875人（前年比+68人、約3.8%増加）  
高齢者検挙比率 約21.9パーセント（前年比約0.2ポイント減少）
- 検挙人員のうち、高齢者の割合が多い手口は万引き（35.7%）、置引き（23.2%）、占有離脱物横領（21.5%）となる。